



## 第 1684 回例会

平成 23 年 12 月 12 日(月)

12:30~ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「我等の生業」
3. ゲスト紹介

2010 年 - 2011 年度 G S E 派遣団員  
植田 真帆 様

### 4. 出席報告

会員総数 60 名 出席者数 38 名  
出席率 63.33% 前回修正出席率 88.33%

### 5. 会長スピーチ 会長 田村 健治 君

皆さん、こんにちは。先週、地区よりのメールで河内長野 R C の辻秀和さんという方がガバナー・ノミニーに指名されたとお伝えしました。既にノミニーだった大阪狭山 R C の北中登氏がエレクトに任命されたので、その空席を埋める人事とばかり思っていましたが、何とその翌年の 2014-2015 年度のノミニーに選出されたとの事。ということは、次のノミニーは未だ決まっていないということです。おまけにノミニー候補の辻さんは自分の所属するクラブの理事会で、受諾を拒否されたとのメールが届いています。地区の人事はまだまだ前途多難のようです。



今日は“くすり”についての豆知識をお話します。今後も着実に上昇してくると予想されるのが、医療コスト。そして、問題となる医療コストを抑えるために今大きな注目を集めているのがジェネリック医薬品です。ジェネリック医薬品とは、新しく開発された先発医薬品の特許が切れた後に作られる、効能・効果等が新薬と同じ後発医薬品のことです。莫大な研究開発費はかかるため先発医薬品よりも安価に製造が可能で、薬価も現状では先発医薬品に比べて 4 割～8 割安いといわれています。厚生労働省が 2011 年 11 月に発表した統計によると 2009 年度の国民医療費は 36 兆 67 億円に上り、2008 年度比では 1 兆 1843 億円増加となっています。ジニネリック医薬品の普及が、医療コ

ストを抑制させることへと繋がる鍵の一つだともいえるでしょう。しかし、現在、日本で売られている医薬品の約 40% は特許が切れているものの、ジェネリック医薬品のシェア率は 2010 年度でわずか 23% と米国、英国、ドイツなどの 60～70% と比べてもかなり低くなっています。この理由としては、品質や効果といった信頼性に対する不安や MR (医薬情報担当者) による情報提供の少なさや副作用に関する情報蓄積の少なさに対する医師の不安が払拭されていないことが挙げられています。日本では薬を処方するとき、薬の一般名ではなく商品名で処方されています。患者にとっては今まで商品名で先発医薬品を処方されてきたため、先発医薬品・先発医薬品メーカーに馴染みを持ち、そのため違う商品名かつ先発医薬品よりも安価なジェネリック医薬品の品質に不安を抱いてしまうことがあるようです。もちろん、ジェネリック医薬品への認知を高めるための広告・宣伝や大手製薬会社を筆頭に MR による情報対応の改善などにも力が注がれており、普及率も上昇していく可能性は非常に高いといえます。

高齢化に伴い今後も医療機関を利用し、医薬品を利用する人間が増えていくことはもはや必然です。同時に医療コストの問題からも、ジェネリック医薬品に関わる機会も増えていくでしょう。ただ、知らない・わからないではなく、上手く情報を取り入れ、ジェネリック医薬品について考えていくことが重要になってくるのではないでしょうか。

### 6. 幹事報告 幹事 山畠 弥生 君

#### ○例会臨時変更のお知らせ

海南 RC 12 月 28 日(水)→12 月 23 日(金)

18:30~ ロイヤルパインズホテル

クリスマス家族例会

1 月 11 日(水)→1 月 11 日(水)

18:30~ 美登利 新年例会

橋本・紀ノ川 RC 1 月 10 日(火)→1 月 9 日(月)

17:30~ スイスホテル南海大阪  
新年家族例会

#### ○休会のお知らせ

橋本・紀ノ川 RC 12 月 27 日(火) 1 月 3 日(火)

和歌山南 RC 12 月 30 日(水) 1 月 6 日(金)

海南 RC 1 月 4 日(水)

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- |          |                |
|----------|----------------|
| ①真実かどうか  | ③好意と友情を深められるか  |
| ②みんなに公平か | ④みんなのためになるかどうか |



事務所 〒642-0002 海南省日方 1294(海南商工会議所内)  
電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：田村 健治 幹事：山畠 弥生 S A A : 岩井 克次

## 7. ゲスト卓話 2010年－2011年度GSE派遣団員 植田 真帆 様

皆さん、こんにちは。本日はお招きいただき、ありがとうございます。4月16日から5月14日まで、韓国・国際ロータリー第3720地区へ、第2640地区のGSE派遣メンバーと参加してきましたので、報告させていただきます。

私は和歌山県教育委員会に勤務し、高校の体育教諭を経て、現在は県のスポーツ振興に取り組んでいます。子供のときから、柔道をしており、講道館柔道三段。そのほか、野球やサッカーなどのスポーツ観戦、毎週スポーツクラブに通っています。

韓国では、国や地方のスポーツ政策のほか、学校やスポーツ関係施設を訪問して、体育、健康教育の授業を見学しました。詳細はプロジェクトの一の写真を見ながらご説明させていただきます。



今回、参加したGSEメンバー5名は殆んどが教育関係者で、韓国の教育現場をメインに職業研究交換をしていました。貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

## 7. 閉会点鐘

### 次回例会

第 1685 回例会 23 年 12 月 19 日(月)

海南商工会議所 12:30~

会員卓話 箕嶋 利一君 那須 正志君



**ニコニコ・BOX**  
**Happy Birthday**  
**◆ 12月お祝い ◆**

○会員誕生日	
9日 阪口 洋一君	17日 寺下 卓君
16日 田岡 郁敏君	
○奥様・旦那様誕生日	
6日 辻 倫子様	23日 宇恵 恭子様
27日 中西 尚子様	
○結婚記念日	
6日 前田 克仁君	

# 国際ロータリー ニュース

## 水の未来を見つめて

最近のクラブ例会で地元の中学生たちが発表を行った際、近くに座っていたロータリアン仲間がひそひそと、「何だかすごい数の中学生だね」と話すのを聞いて、ヴァル・ジョンソンさんは思わず微笑んでしまいました。

中学生たちは、2007年にジョンソンさんが設立した非営利団体について発表していたからです。



ジョンソンさんが設立した団体「H2O for Life」は、米国の学校と発展途上国の学校をつなぎ、きれいな水や衛生設備を提供する活動を支援しています。例えば、ミネソタ州ニューブライトンのハイビュー中学校の生徒は、ケニアでのダム建設資金のために、1万3,000ドルを集めました。同団体はまた、発展途上国の子どもたちが毎日行っている水汲みの苦労を理解するために、アメリカの子どもたちが実際に何マイルも歩く「ウォーター・ウォーク」という活動など、募金のためのさまざまな活動を行っています。

これまで活動に参加した生徒たちは、26カ国での学校支援プロジェクトのため、総額100万ドルを集めました。それぞれのプロジェクトは、生徒たちが集めた資金と同額を、プロジェクトを実施する非営利組織が上乗せして寄付することになっています。

5月、H2O for Lifeは、水と衛生設備のロータリアン行動グループ、P&G社、アフリケアと協力し、試験的プロジェクトを立ち上げました。また、教師が水について生徒に教え、プロジェクトを実施する国の文化を伝えるための教育なども行っています。

ジョンソンさんは、団体の活動について次のように話します。「私たちの活動は、発展途上国の人々を支援するだけでなく、プロジェクトに参加しているアメリカの中学生にも大きな影響を与えていました。誰かの命を救うことができたと感じることで、将来、彼らは人道的活動を積極的に行い、立派なロータリアンとなるでしょう」

**12月は家族月間です**  
**世界平和は地域、家族から始まります！**